

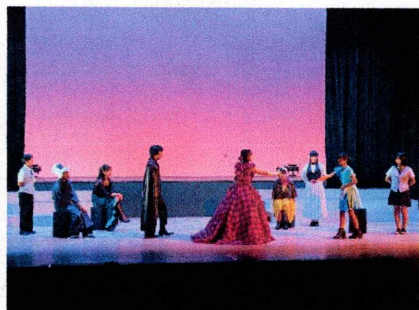
やっと秋らしくなってきました

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。猛暑の9月が過ぎ、やっと秋らしくなってきました。秋といえば「文化の秋」。校内からは11月の文化総合発表会に向けて、素敵な歌声が響いてくるようになりました。1学期の体育大会で聴かせてくれた校歌とはまた違った皆さんの元気な歌声を、今から楽しみにしています。先週の土日には、校区や市内でも文化的な行事が開催されました。徳力市民センターでは地域の文化祭が行われ、広徳中学校美術部の共同制作による黒板アートが訪れる人の目をひときわ引いていました。

近くから見ても、離れて見ても面白い作品だと感じました。これからの美術部の活躍にも期待が高まりますね。



6日にはウェルとばたで、第39回北九州市中学校文化総合発表会が開催され、ステージ部門で本校の演劇部が「Alice～世界がアリスの夢だったら～」の公演を行いました。タイトルから分かる



とおり、この作品は「不思議な国のアリス」が元になっている、ちょっと不思議なお話です。演劇部の皆さんは全員で一生懸命に頑張っていました。文化総合発表会でのステージも楽しみです。

展示部門では、市内すべての中学校の美術や書写の作品、理科や技術・家庭

科の優秀な作品が展示されていました。この総合文化祭は毎年行われていて、児島はもう何年もこの発表会の運営に関わっています。1, 2年生の皆さんは来年度の出演や出品を目指して、3年生の皆さんは観客として見に来てくれると、とてもうれしく思います。

○ ビブリオバトル学年代表決定戦

秋と言えば「読書の秋」でもあります。10日には、各学年でビブリオバトルの学年代表を選ぶ決定戦が行われました。情報がすぐ近くにある今は、大人も子どももテレビやスマホばかり見て、なかなか本を読むことが少なくなっていますが、中学生時代の今こそ、読書に親しみ、想像力の世界で楽しむことがとても大切なことだと思います。文科省の調査によると、読書量と学力には関係があり、本をよく読む生徒ほど学力も伸びている、しかも理数系の科目が伸びているという結果があるそうです。みなさんもきっと、友達の紹介で素敵な本に出合ったのではないのでしょうか。今まであまり読んだことのないジャンルの本と出合うことで、みなさんの世界は、もっと広がるはずです。そして11月1日の学校チャンピオン戦に期待しましょう。

